

森のおくりもの 2月



ニホンカモシカ（ウシ科）



写真：井野川 登久夫さん（太白区）

1月の末ごろからやっと本格的な寒さとなってきました。しかし、例年とは異なり、森には積雪がなく、自然観察には良いのか悪いのか微妙なところ
です。とりわけ動物たちの足跡が観察しにくく、当センターのレンジャーた
ちは苦戦しているようです。また、森の動植物にも何らかの影響があること
も考えられることから、これから注意深く見守りたいと思う今日このごろで
す。
（館長 菊池正行）

手がシャベル 穴掘り名人

『アズマモグラ（東土竜）』



冬になると芝生広場、ヤマツツジの丘などで、もこもこっと土が盛り上がりつつあるのが目につきます。それは、「モグラ塚」と呼ばれ、モグラがつくったもの。めったに姿を見ることもないので普段はあまり気にすることは無いけれど、冬は少し存在感があります。

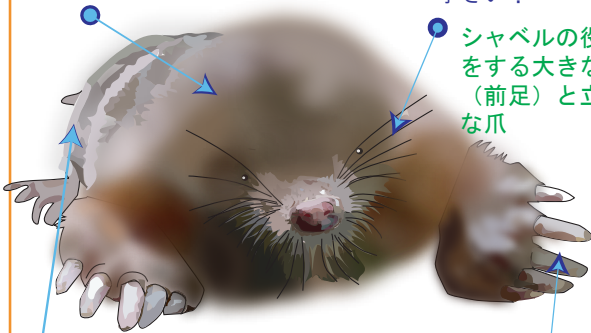
ヒミズとどこが違う？

【アズマモグラ】

超触り心地のいい毛並み 【約12~15cm】

目がとおっても小さい！

シャベルの役割をする大きな手（前足）と立派な爪



短い

匂いには敏感
匂いで獲物を探す

大きい

しっぽ

前足

長め

【ヒミズ】

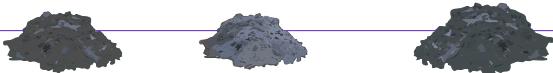
【約9cm】

小さい



なんでモグラ塚ができる？







●モグラの餌となるミミズは地表近くで生活していますが、冬は地中の深いところへ移動します。夏場使っていなかった深い場所のトンネルを手入れするため、地中から土を運びだし、モグラ塚が目立つようになります。



- アズマモグラはトンネル（直径約3~4cm）を掘って、そこに落ちてきたミミズなどを食べながら生活します。トンネルの奥に球状の巣をつくり、エサ場のトンネルと巣を約8時間周期で往復して生活しています。
- モグラの毛はトンネルの中を自由に動きできるように、皮膚からほぼ直角に生えています。触り心地は最高ですよ。
- モグラのトイレからでてくるキノコもあり、「ナガエノスギタケ」といいます。
- 12時間ほど何も食べていないと餓死してしまうモグラ。そんな生物が生き残れるのはそれだけエサが豊富＝土壌が豊かだということでしょうね。モグラは時に害獣と扱われることがありますが、地下に空気の層を作り、雨の浸透を助け、森を支えている大切な生き物であることを忘れないでおきたいですね。

2月の生物ごよみ

野鳥

	1月		2月		3月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
カシラダカ センター裏の餌台でよく見ることができる。					
アトリ 森を歩くと尾根筋で群れに遭遇することがある。					
カワラヒワ 森の中でよく見ることができる。					
ミシサザイ 森の中でたまに鳴き声が聞こえる。					
アカハラ センター裏の餌台によくやってくる。					
ルリビタキ 鳴き声はたまに聞くことが出来るがなかなか出会えない。					

森でみつけたいろいろな顔【冬芽特集】

冬の森を歩いていたらいろいろな顔に出会いました。今回はそんな冬芽たちを集めてみました。みんなは何に見えるかな？いろいろ想像してみよう♪♪



森の王様♪ アジサイ わんぱく坊主 シラキ 兵隊さん アオハダ パルタン星人 アワブキ 赤鼻ピエロ キハダ ゲジゲジ頭 コナラ はにわ クズ



かた車の子供 クサギ しましま帽子 コクサギ イカ大王 リョウブ 女王様 ヤブムラサキ ひつじ オニグルミ ??? ヤマガワ サル サンショウ

【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー苑 木もれびBLOG



略してコモブロ 第21回『小鳥たちにつつまれる幸せ』

冬の森は、やっぱりちょっと寂しい。多くの生き物たちが息をひそめて暮らしているから、生き物と出会うチャンスも少なくなってしまう。風の音だけが聞こえる。

そんな静かな冬の森を落ち葉や雪を踏みしめながら巡回していると、ふいに頭の上がにぎやかになるときがあります。小鳥たちの混群※がやってきたのです(^o^)/

まず、エナガがさわがしく現れ、枝先で空中ブランコを始めます。ときには10羽以上のエナガがサーカスを繰り広げる中、次はシジュウカラが舞台の裾に登場し、落ち葉をかき分けて餌を探し始めます。最後にコゲラが小刻みに幹を駆け登り、樹皮の間で餌探し。気が付くと小鳥たちに囲まれ、平和な居心地のよい時間が流れます。

そんなとき、葉が落ちて見通しのよくなった樹林ごしに空を見上げると、悠々とオオタカが飛翔している。…なんてこともたまにはあります。

冬の森は一見なにもいないように見えるけれど、探せば探すほど面白い発見に満ちています。ぜひ防寒をしっかりと森を歩いてみて下さい。

【レンジャー：高橋千尋】

※混群（こんぐん）

冬季に種類の異なる小鳥類が群れをつくること。

採餌効率や天敵の発見率が上がると言われている。



イベント報告

1月25日土曜日に、フィールドサイン観察会「雪の上の足あとだあれ？」を開催しました。フィールドサインとは、一般的に野生の哺乳類がフィールドに残した足跡やフン、食痕などの生活痕跡のことを言います。

“雪の上の”と言っておきながら、当日はまったく積雪がない状態！いったい何を観察してもらえばよいのか、かなり悩みながらの開催となりましたが、参加して下さったみなさんは、無理矢理？観察させられたイノシシやタヌキのふんを見ながら、実際には会うことが難しい野生動物に想いを馳せておりました。



里山 太白山自然観察の森は

以前、ウォーキングでいろんなコースを一目散に駆け巡ったものですが、年金受給者協会仙台南支部のクラブとして、里山を散策しようと有志で「散策ヒフミ会」を立ち上げ、毎月第2火曜日10時から、観察センターのレンジャーによる説明を聞きながらの散策が始まりました。この機会にと私も参加してみることにしました。

春夏秋冬、移り変わる木々花々、昆虫、小鳥、動物それに景色の変化を観察し学び、知らなかった木々や山野草の名前、小さな昆虫など多くを知り、それぞれの生き方や成長の過程を知ることが出来ました。

森林と言っても雑木林は、長い年月自然に変化していき、もみの木、イヌブナが最終的に残り、極相林となるんだそうです。

雑木林に繁るいろんな木々の種類も沢山あり、針葉・広葉・落葉・常緑樹の名前を覚えるにも一苦労、覚えたと思っけていても、すぐに忘れてしまうんです。さらに、いろんな木々の芽の形や樹皮の特徴など観察するのも、とても楽しいものです。

山野草がこんな所にも・・・と、気が付かない自分に哀れさを感じた程、レンジャーの観察力にとっても感心してしまいます。

冬ごもり支度から春に芽吹くのを待っている生命、また、小さな昆虫の幼虫、さなぎ等それぞれの生き方や、命を守る防御策など、精一杯この大地の自然に生き延びている姿は、神秘的なものばかりであります。

3月には道端に「セリバオウレン」の花が可れんにとても美しく咲いていて、心のなごむひと時もありました。

美味しい空気をいただきながら、双眼鏡やルーペを使って観察する散策は健康増進にもよく、毎月の例会が楽しみでなりません。

もうすぐ春がやって来て、また、きれいな花を咲かせ、昆虫、小鳥、動物達も活動しはじめる日が間近に来ています。待ち遠しいなあ！

4月に入るとスミレ、キクザイチゲ、エンレイソウ、シュンラン、アズマイチゲ、ニリンソウ等々美しい花々が沢山咲きみだれるのであります。

文：小泉隆悦さん（太白区）



【散策ヒフミ会の風景】

2月のイベント&お知らせ

◆森の講話会「カモシカと里山の自然について」

2月22日(土) 13:30～15:00

太白山周辺に生息する国の特別天然記念物ニホンカモシカの生態や世界に住む仲間について、カモシカの飼育経験もある菊田秀逸氏に講演していただきます。



【対象】動物や里山の自然に興味のある方
 【募集】先着40名 【料金】無料
 【申込み】2月6日(木)午前9時から電話で

◆『野鳥のレストラン』開店中! ※3月30日(日)まで

自然観察センター研修室の窓から見える場所に、バードテーブル(餌台)を設置しています。館内の暖かい場所からじっくりとバードウォッチングを楽しむことができますよ。

トピックス ちょっと待ってよ! イノシシ君

センター周辺にも出没するイノシシですが、餌を探るために毎年キクザキイチゲなどが咲く場所が掘り返されてしまい、今年の開花状況が不安です。芝生広場も掘り返すので、イノシシ避け?にCDをぶらさげて対処しています。



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

2月の開催日は
2日, 9日, 16日, 23日

開催時間 10:00a.m.～11:30a.m.

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

※12月～3月は午前中でのみの開催となります。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



2月の休館日

3日, 10日,
17日, 24日

♪森へおいでください♪



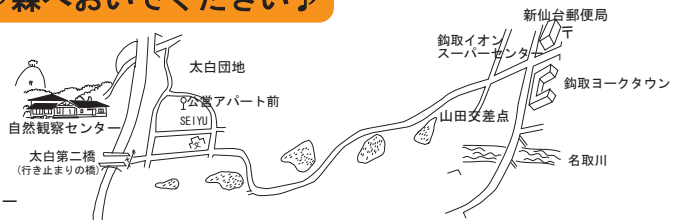
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」バックナンバーが
ご覧になれます。

「太白山 森のおくりもの」で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2014年2月号 (毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp